

作業学習で学んだことを将来の職業生活につなげようとする事ができる生徒の育成

—導入や振り返りを中心としたICTの活用を通して—

【授業実践】 作業学習

単元名「ステキな社会人になろう」

特別研修員 特別支援教育 矢島茉莉子(特別支援学校教諭)

《目指す生徒像》

作業学習で学んだことを職業生活につなげようとする事ができる生徒

本時の目標を時々見返しながら取り組んだことで、作業に集中して取り組めた！
卒後後に向けて作業学習を頑張りたい。



動画を観て感想を伝え合ったことで、自分の成長や課題が分かり、報告・連絡・相談ができるようになってきた！
将来に向けてできることを増やしたい。

【手立て2】

本時の作業の取組を 生徒同士で振り返る活動の工夫

- ①作業に取り組む姿を撮影した動画で確認
- ・1人1台端末で個々に動画を視聴する
 - ・大型テレビに動画を映して取組を共有し、確かめ合う

〇〇さんは、目標を達成できていたな



1人1台端末と大型テレビをつなぎ、作業の様子を映す



- ②本時の取組に対する感想の発表

- ・発表時には、生徒の取り組む姿をもとに互いの成長や改善点を具体的に伝え合う
- ・互いの頑張りを認め合い、励まし合う

〇〇くんは、自分から次の指示を聞いていたところが良かったです。

頑張りをみんなが認めてくれた。次も頑張ろう



【手立て1】

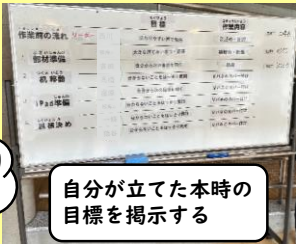
表計算ソフトウェアを用いた 評価シートの活用と蓄積

- ①導入場面における評価シートの活用
- ・前時の学習を振り返り、本時の目標を入力する
 - ・自分が立てた目標を掲示する

相手に伝わりやすい声で報告しよう



自分が立てた本時の目標を掲示する



- ②振り返り場面における評価シートへの蓄積

- ・自己評価と他者評価を入力する
- ・前時までの出来栄を確かめ、成長を実感する

分からないことを質問できたから◎にしよう！

〇〇さんは自分から質問できていたな



目標	自分		友達	
	目標	評価	◎◎◎◎	◎◎◎◎
1 自分から大きな声であいさつ・返事ができる。		◎		
2 相手に伝わりやすい声で報告ができる。		◎		
3 自分から先生やリーダーに連絡や相談ができる。		◎		
4 分からないことをはっきりと質問できる。	☆	◎	○	
5 指示を持たずに自分から次の指示を聞くことができる。		◎		★

生徒の実態

- ・作業学習で学んだことを将来の職業生活につなげていくことが難しい
- ・自分の気持ちを言葉で相手に伝えたり、一人で作業に取り組んだりするなど、コミュニケーション面や作業遂行力に課題が見られる生徒が多い



教師の願い

- ・コミュニケーション力や意欲的に作業に取り組む続けるなど、職業生活に必要な力を身に付け、卒業後の暮らしを豊かなものとしてほしい
- ・作業学習で学んだことを日常生活と結び付けながら発揮し、働く意欲を育ててほしい



【成果】

- 評価シートを活用したことで、生徒が成長を実感し、より自身の課題に注意を向けて取り組もうとするなど、働く意欲につながった。
- 作業に取り組む姿を撮影し、個々に動画を視聴したり、大型テレビに映して目標の達成状況を共有したりしたことで、生徒が自己や他者の成長や課題に気づき、伝え合うことができた。

【課題】

- 評価シートを活用したが、ICTの操作に不慣れな生徒もいた。個々の実態に応じた評価シートの作成やICTの活用場面を工夫していく。
- 他者から評価を受ける経験が少なく、抵抗感を抱く生徒もいた。他者からの評価の意味を伝えていくとともに、自己評価の向上に向けて、他の学習場面においても他者評価を継続して取り入れていく。

単元を通してのICTの効果的な活用